

# 大河原町まち・ひと・しごと創生「長期ビジョン」と「総合戦略」の全体像

## 地方版総合戦略(2015~2019年度の5か年)

### 地方人口ビジョン

中長期展望(2060年までを基本)

#### I. 人口の現状分析

- 人口動向や将来人口推計の分析
- ・区画整理や商業開発が進み転入や新築も多く人口は伸びてきた
- ・近年は開発も少なく人口減少傾向だったが、東日本大震災の影響で転入が増え2014年に人口がピークとなる
- 2060年人口推計**
- ・総人口が2015年から6,000人減少し、17,768人となる
- ・年少人口46%減、生産年齢人口38%減
- ・高齢人口は17%増加、2050年まで増え続ける

#### II. 人口の将来展望

- 目指すべき将来の方向性や施策の方向
- ◆各施策により2060年に2万人の人口を確保
- ◆国民希望出生率1.80以上の実現
- ◎仕事があり、働きやすい環境の実現
- ◎移住・定住が進む環境の実現
- ◎結婚・出産・子育ての希望がかなう環境の実現
- ◎全町民の健康寿命が延伸する環境の実現
- ◎高齢者を地域で支える仕組みの構築

基本目標※1と基本的方向※2  
 ※1実現すべき成果(アウトカム)に係る数値目標を設定(定性目標の場合客観的な指標を設定)  
 ※2目標達成のために講ずべき施策の方向を記載

**しごとをつくり、安心して働けるようにする**  
 ・雇用を増やす、就業環境を改善する

- ◆企業誘致により新規雇用者30人の実現。
- ◆短時間勤務社員制度の活用者5人。

**新しいひとの流れをつくる**  
 ・大河原町への来訪者、定住者を呼び込む

- ◆観光施策により年3,000人来訪者増加。
- ◆移住施策により空き家に転入5件。

**若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる**  
 ・結婚～子どもを産み育てやすい環境を整備する

- ◆合計特殊出生率を1.61に上昇(2012年1.43)。
- ◆保育待機児童数0人。子育て支援・保育サービスの充実の満足度が上昇。

**時代に合った(人口構成の変化等に合わせた)地域をつくり、安心な暮らしを守る**  
 ・増加する高齢者の健康寿命が延伸する暮らしやすい環境と、持続可能な地域社会に向けた環境の整備を図る

- ◆国民健康保険被保険者1人当たり療養費年272千円(2014年)が264千円(3%減)に減少。
- ◆町内平均寿命2010年、男80.8歳、女85.8歳が、2020年に男81.8歳、女86.8歳に上昇。

**地域と地域を連携する**  
 ・広域連携により施策形成を図る

- ◆市町単位の施策の枠を超えた効果により、広域的・社会的な貢献につながる。

主な重要業績評価指標(KPI)

- 企業誘致による参入企業2社
- 農産物産地化・加工の交付金活用団体等3団体
- ワーク・ライフ・バランス等啓発・企業訪問10社

- 通年観光の目玉、新名物1件開発
- 観光ボランティア養成10人、情報発信し隊認定30人
- 空き家バンクの登録件数10件
- 移住サイト閲覧件数年500件
- 空き家リフォーム支援制度利用件数5件

- 県内婚姻率1位の維持を支援
- 住民満足度調査の質問項目「子どもの医療費支援の充実」の満足度5点満点中4.0点に向上(2013年度3.5点)
- 保育所、幼稚園などのサービスと施設の管理運営など保護者アンケートを実施、事業実施後満足度5点満点中4.0点以上
- 保育待機児童数0人(2015年保育待機児童数17人)  
住民満足度調査の質問項目「保育サービスの充実」5点満点中3.8点(2013年度3.3点)

- 「歩きたくなるまち」健康管理システム登録者1,000人
- 運動・栄養教室等への参加者500人増
- 介護予防サポーター5年で100人・認知症サポーター300人増
- みまもりねっと登録者200人増
- H27年度住民満足度調査「空家対策」の満足度から0.5ポイントアップ
- (仮称)大河原大学の組織、運営体制を構築

- 広域連携移住・定住情報サイト閲覧件数年1,000件
- 広域的な婚活イベント年1回開催
- 近隣市町とウォーキングコース合同マップ作成

取り組み内容

- ①企業誘致活動の強化 ②町「企業立地促進制度」のPR強化
- ③商店街の空き店舗の活用支援施策の検討 ④就農希望者を呼び込み、遊休地とのマッチング促進 ⑤新たな特産物づくりと6次産業化を支援
- ⑥新たな起業、第二創業に対する支援制度を検討
- ⑦ワーク・ライフ・バランスやワークシェアリングなどライフスタイルに応じた働き方の推進

- ①通年観光に向けた観光振興の研究の推進 ②「まちの宝探し」による観光資源の発掘 ③観光ボランティアガイドを養成し、来訪者へのおもてなし強化
- ④町民協働「情報発信し隊」の公的認定による情報発信の推進
- ⑤空き家バンクの整備活用 ⑥国の移住ナビとの連携強化
- ⑦移住者の空き家リフォーム支援

- ①町全体での結婚プロジェクトの推進 ②小中学校時に結婚・出産・子育てなど学習機会の提供 ③子どもの医療費の18歳まで無料化拡大、所得制限撤廃
- ④第3子以降出生世帯への出生祝い金贈呈 ⑤妊産婦及び乳幼児がいる家庭へのサポート体制の強化 ⑥産後の母子健康管理・育児ヘルプサービス事業の導入
- ⑦公共施設の土日開放による親子の交流の場を整備 ⑧三世帯同居用住宅の新築・増築等助成制度の整備(在宅保育支援) ⑨子育て施設への備品等の充実を促進
- ⑩民間活力による多様な保育サービスの提供 ⑪ファミリーサポートセンターの設置検討 ⑫「放課後子ども総合プラン(放課後児童クラブ・放課後子ども教室)」の推進

- ①「健幸」な暮らし方をまちづくり化し普及啓発 ②健康増進「歩きたくなるまち」創造を推進(景観改善含む) ③年代に応じた切れ目のない健康施策の推進
- ④中高年の健康分析の情報発信による健康増進啓発 ⑤地域包括ケアシステムの整備準備 ⑥介護予防サポーター・認知症サポーターの拡大及び介護予防・認知症理解を深めるための普及啓発 ⑦介護予防意識の啓発強化
- ⑧地域見守りネットワークの拡大 ⑨介護家族慰労に対する表彰等の検討
- ⑩ショートステイ整備支援による在宅介護の強化 ⑪三世帯同居用住宅の新築・増築等助成制度の整備(在宅高齢者支援) ⑫空き家実態調査による実態把握、特定空き家等対策の制度化 ⑬「(仮称)大河原大学」開校準備・研究
- ⑭町内各所に防犯カメラ設置の検討

- ①企業誘致活動の広域的取組に向けた組織等の検討 ②ワーク・ライフ・バランスの広域的な取組みの検討 ③広域連携による移住・定住情報サイトの設置検討
- ④広域的組織「婚活プロジェクト」の設置検討 ⑤広域ブランドによる観光物産振興の検討 ⑥広域エリアのウォーキングコースの設定
- ⑦環境政策を進める広域的組織の整備の検討

